

# 第6編

## 文化・交流・連携

### 第1章 多彩な文化芸術の継承と創造

- 6-1-1 文化遺産の継承と活用
- 6-1-2 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造

### 第2章 スポーツによる明るく活気に満ちたまちづくり

- 6-2-1 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

### 第3章 交流・連携、移住・定住促進による活力あるまちづくり

- 6-3-1 選ばれる都市に向けた上田の魅力発信
- 6-3-2 交流・連携促進による地域の活性化

## 6-1-1 文化遺産の継承と活用

地域の歴史・文化を知る機会を創出し、「上田市文化財保存活用地域計画」に基づいて文化遺産の継承と活用に向けた取組を推進します。

### 現状と課題

- 文化財は将来の地域文化の向上発展の基礎となる貴重な財産であるため、これらを適切に保護して次世代へ引き継ぐ必要があります。
- 文化財の保存にあたっては、行政と所有者だけでなく、地域、企業、NPO法人などが参画し、協働のもと次世代に継承する体制が重要です。
- 様々な主体が文化財に関わる気運を高めるためには、文化財を積極的に公開し、地域の歴史文化を正しく知り、触れる機会を創出することが必要です。
- 文化財を適切に保存する一方で、まちづくりや観光、学習活動の資源として有効に活用していく必要があります。
- 国史跡であり、上田市のシンボルでもある史跡上田城跡を適切に保存するとともに、調査に基づく整備を推進し、さらなる活用を図る必要があります。

#### 【指定等文化財一覧】

(R7.12.1現在)

種 類	有 形 文 化 財								無 形 文 化 財	民 俗 文 化 財		記 念 物			計
	建造物	絵画	彫刻	工芸等	書跡	古文書	歴史資料	考古資料	芸能	有形	無形	史跡	名勝	天 然 記念物	
国 宝	1														1
国指定	6		4	2		1	1			1		3		3	21
国重美		1			2										3
国登録	19														19
国選択											3				3
県指定	10	2	4	3				2				4		3	28
県選択											1				1
市指定	38	9	26	20	3	19	4	7	4	14	14	45	7	30	240
計	74	12	34	25	5	20	5	9	4	15	18	52	7	36	316

出典：上田市作成(生涯学習・文化財課)

### 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
市の歴史や文化財に愛着や誇りを感じる 市民の割合 (市民アンケート)	56.0% (令和6年度)	69.0%
歴史や文化を大切にしたい上田らしさを感じる 市民の割合 (市民アンケート)	42.3% (令和6年度)	58.0%

## 各主体に期待される主な役割分担

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存・活用の取組に参画します。</li> <li>・地域の歴史・文化遺産の基礎資料を提供します。</li> <li>・伝統行事などに参加し、文化財を学習活動の場として活用します。</li> </ul>
文化財所有者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財を適切に管理します。</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと学習を通し、地域の歴史・文化などに関する教育を行います。</li> </ul>
自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統行事や体験学習などに参加しやすい環境づくりを行います。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存・活用の取組を支援します。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史・文化を知る機会を創出します。</li> <li>・歴史・文化遺産の継承と活用の取組を推進します。</li> </ul>

## 施策の方向性・展開

### 基本施策1 地域の歴史や文化遺産の継承

- ①文化財の活用や博物館、公民館、図書館などでの学ぶ機会の提供を通して、市民が主体的に行う学習や研究活動の促進支援、学校教育における学習支援の取組を進めます。
- ②文化財所有者が行う修理および無形民俗文化財などの後継者育成事業をはじめ、市民や団体などが自主的に行う文化財保護活動を支援します。
- ③地域の歴史や文化遺産などに関する基礎資料の収集、調査や記録保存を行い、文化財指定や国の登録制度の活用のほか、情報発信による機運醸成を図り、適切な保存環境の整備に努めます。
- ④史跡上田城跡の調査や適切な保存に取り組みます。

### 基本施策2 地域の歴史や文化遺産の活用

- ①地域の特色ある文化遺産を、まちづくりや観光資源として活用する取組を促進するとともに、所有者や地域・市民団体等が主体的に取り組む文化財等の活用事業を支援します。
- ②デジタルアーカイブなどを活用した情報発信に努め、市民が地域の歴史・文化を知り、誇りを持つことで、文化財を活用した地域づくりにつなげます。
- ③「上田市日本遺産推進協議会」を中心に、関係する各種団体との協働により、日本遺産の普及啓発や魅力発信を推進し、観光振興を図ります。
- ④上田城跡整備事業を計画的に進め、一層の活用を図ります。

## 主な事業

文化財保存活用事業 埋蔵文化財調査事業 上田城跡整備事業 上田市日本遺産活用事業

## 関連する主な個別計画

上田市文化財保存活用地域計画、上田市歴史的風致維持向上計画、史跡上田城跡保存活用計画、史跡上田城跡整備基本計画、史跡信濃国分寺跡保存整備基本計画、第三次上田市文化芸術に関する基本構想

## 6-1-2 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造

「育成」を基本理念とし、地域の文化芸術振興に努めることにより、まちの魅力と市民の誇りを高め、「文化創造都市」としての充実を目指します。

### 現状と課題

- 文化・芸術はまちづくりの重要な要素であり、新しい時代に向けた文化振興施策を総合的に展開していく必要があります。
- 市民が多彩な文化・芸術に触れ、自らが参加し、主体的に文化芸術活動の担い手となるよう環境を整え、支援していく必要があります。
- 文化・芸術を通じた魅力あるまちづくりを展開するために、特に次世代を担う子どもたちの感性や創造力を育む事業に継続して取り組むことが重要です。
- 持続的に質の高い芸術鑑賞の機会を創り出すとともに、施設を健全に維持していくためには、安定した財源の確保と、民間企業や団体との様々な連携を推進する必要があります。
- 文化・芸術はまちの活力の源泉であることから、「文化創造都市」としての充実に資する事業展開が求められています。

【文化ホールの利用状況】

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)	利用者数(人)
交流文化芸術センター 大ホール	22,061	45,116	79,134	91,699	105,720
交流文化芸術センター 小ホール	9,324	15,378	22,814	20,842	28,525
上田文化会館 ホール	7,025	7,962	23,245	25,922	27,886
丸子文化会館 大ホール	-	11,958	27,907	27,888	26,035
丸子文化会館 小ホール	2,081	5,078	10,377	15,451	14,681
信州国際音楽村ホールこだま	3,948	9,075	19,095	24,040	23,250

出典：上田市作成

※令和2年度丸子文化会館大ホールは天井耐震化工事等のため利用不可

【文化支援事業補助金 支援件数】

市民団体が企画・開催するコンサートや観劇、展覧会等の開催を支援しています。

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	2件	4件	8件	11件	9件

出典：上田市作成

### 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
文化・芸術に触れ、参加する機会に恵まれていると感じる市民の割合 (市民アンケート)	37.9% (令和6年度)	45%

## 各主体に期待される主な役割分担

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサート観賞や体験型講座に参加します。</li> <li>・文化芸術活動に取り組み、成果を発表します。</li> <li>・自らが企画運営に携わり鑑賞事業などを開催します。</li> <li>・子どもアトリエサポーターなどとして、各種事業に参画します。</li> </ul>
幼稚園・保育園・学校など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもアトリエプログラムや芸術家ふれあい事業などに参加します。</li> </ul>
地域・商店街	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術事業の受け入れや企画をします。</li> </ul>
事業者など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業メセナ*などにより文化芸術事業を支援します。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「育成」を基本理念に市民による創造的な文化芸術活動を支援します。</li> <li>・「創造育成事業」や「市民参加型事業」、魅力ある「鑑賞事業」を展開します。</li> </ul>

## 施策の方向性・展開

### 基本施策1 「第三次上田市文化芸術に関する基本構想」に基づく文化施策の推進

①第三次上田市文化芸術に関する基本構想に基づき、総合的かつ計画的に文化振興施策を推進します。

### 基本施策2 文化芸術活動などを支える団体や人材の育成

①文化・芸術を体験できる環境を整えるとともに、文化芸術活動を支える団体や人材の確保・育成、活動の維持・継続を支援します。  
特に、部活動の地域展開を見据え、青少年が文化芸術に触れる機会の促進に努めます。

### 基本施策3 次世代の育成、地域の魅力の向上に向けた、文化芸術事業の展開

①文化交流・創造拠点としてのサントミュージゼを核に、学校をはじめ民間劇場、近隣地域など、様々な分野との連携を図り、次世代を担う子どもたちの育成や、地域の魅力を高める創造育成事業に取り組みます。  
②市民が文化・芸術に対する理解と共感を深め、地域の文化芸術振興の担い手として活動できるよう市民参加型事業を展開します。  
③多彩で魅力的な公演や地域に根差す展覧会等の鑑賞事業を持続的に実施することにより、まちの活力を高め、シビックプライド\*の醸成を促します。

## 主な事業

文化支援事業補助金 うえだ子ども文化祭 子ども文化講座 うえだ城下町映画祭  
シリーズ文化講演会 芸術家ふれあい事業 子どもアトリエ事業 市民参加・体験型事業  
魅力ある鑑賞事業(音楽、演劇、ダンス、美術展覧会等)

## 関連する主な個別計画

第三次上田市文化芸術に関する基本構想



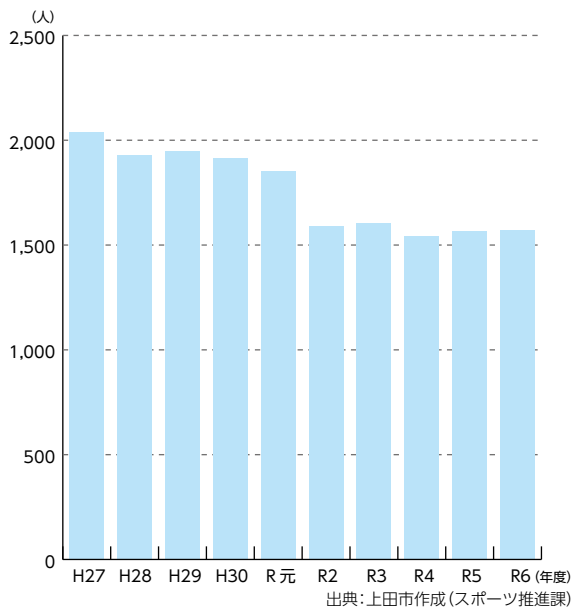
## 6-2-1 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

「第二次上田市スポーツ推進計画」に基づき、体力向上や健康づくりの機会を拡大するとともにスポーツ環境の整備を促進し、生涯スポーツ社会の実現を、目指します。

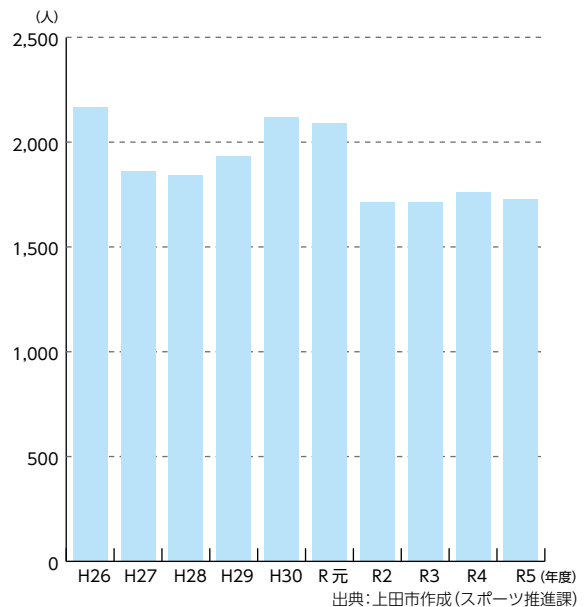
### 現状と課題

- スポーツは、よるこびや感動をもたらし、心身の健康に役立つとともに、人々の交流や経済の発展にもつながるなど、多くの素晴らしい価値と可能性を持ち、明るく活気に満ちた生きがいのある生活を送るうえで欠かせないことから、「だれもが・いつまでも」スポーツを楽しみ、笑顔と活気あふれるまちづくりを進めていく必要があります。
- 多様なスポーツ・レクリエーションや競技スポーツ振興を図るため、「上田市スポーツ施設整備計画」に基づき、計画的な施設整備を進める必要があります。
- 高地トレーニング・スポーツ合宿の適地として、菅平高原を国内外に積極的にPRし、ブランド力を強化させるとともに、地域特性を活かした各種大会などを誘致することにより、交流人口を増加させることが重要です。
- 上田市から世界の舞台や国内の大規模大会などで活躍する選手が育つことを視野に入れ、優れた競技者を発掘し、応援する体制づくりが重要です。
- 令和10年(2028年)に本県で開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)は、市民がトップアスリートの競技に身近に触れることにより、スポーツへの関心を高め、本市の「スポーツ都市宣言」に掲げる「だれもが・いつまでも」スポーツを楽しむ「笑顔と活気あふれるまち」の実現に向けて、大変有意義なものになると期待されるとともに、市の豊かな自然や歴史、文化、食など様々な魅力を全国に発信する絶好の機会でもあります。大会終了後も、指導者や次世代の育成、施設の有効活用など、将来にわたる競技スポーツの振興につながる大会にする必要があります。

【上田市スポーツ少年団 団員数】



【総合型地域スポーツクラブ 年度末会員数】



## 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
総合型地域スポーツクラブ会員数	1,729人 (令和5年度)	2,000人
スポーツ大会・イベント参加者数	10,420人 (令和5年度)	11,000人
スポーツ施設利用者数	1,059,000人 (令和5年度)	1,100,000人

## 各主体に期待される主な役割分担

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動やイベントに積極的に参加します。</li> <li>・スポーツに関心を持ち「みる」ように努めます。</li> </ul>
スポーツ団体・事業者など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がスポーツに親しめる機会を提供します。</li> <li>・「みる」スポーツ*の機会の増加を図ります。</li> <li>・指導者の育成や派遣を行います。</li> <li>・世代間交流や地域交流を広げます。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽にスポーツに親しめる環境を整えます。</li> <li>・競技スポーツの振興を図ります。</li> </ul>

## 施策の方向性・展開

### 基本施策1 体力向上・健康づくりの機会拡大に向けた取組

- ①施設整備においては、人口減少に加え、部活動の地域展開による影響やプロスポーツとの連携等も考慮し、適正な総量、規模、配置の検討を行い、施設環境の充実を図ります。
- ②上田市スポーツ協会・総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ団体や企業との連携協働のもと、各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催、「みる」スポーツの機会を提供し、子どもから高齢者まで生涯スポーツへの参加機会の拡大を図ります。

### 基本施策2 指導体制の充実と競技者の育成

- ①部活動の地域展開に向け地域での持続可能で多様な環境整備が必要となることから、スポーツ団体などと連携し、競技者がスポーツ活動を継続できる環境整備(指導者の資質向上、施設改修等)を推進します。

### 基本施策3 地域特性を生かしたプロスポーツ競技などの誘致および市民交流の促進

- ①プロスポーツ競技などの合宿や大会を誘致することにより「みる」スポーツの機会創出に取り組むとともに、子どもをはじめとした市民が、プロスポーツ選手やオリンピックなどのトップアスリートから直接指導を受ける機会を設けるなど、将来の夢を描くことができる取組を推進します。

### 基本施策4 信州やまなみ国スポ・全障スポ開催によるスポーツに親しめる環境づくり等の推進

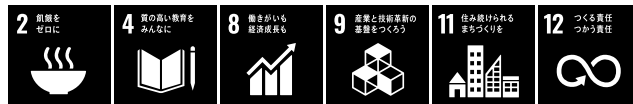
- ①令和10年の信州やまなみ国スポ・全障スポ開催を契機の一つとし、市民のスポーツへの理解をより深め、生涯を通じて気軽にスポーツに親しめる環境づくりと、スポーツを通じた「健幸都市」づくりを推進します。

## 主な事業

体育施設管理事業 各種大会等事業 体育振興助成事業 トレーニングキャンプ支援交流事業  
国民スポーツ大会推進事業

## 関連する主な個別計画

第二次上田市スポーツ推進計画、上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画



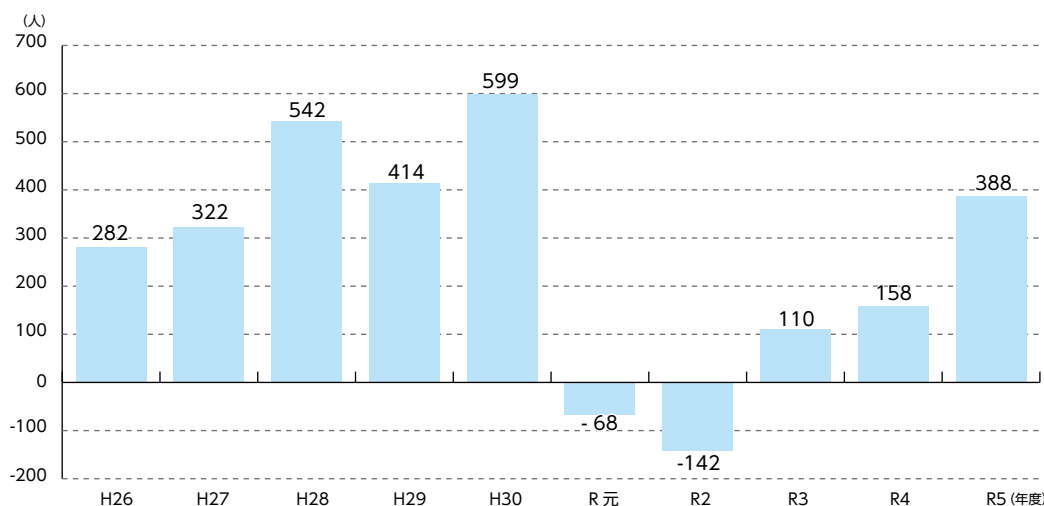
## 6-3-1 選ばれる都市に向けた上田の魅力発信

上田市が有する自然・歴史・文化、産業・食、子育て・教育環境など、多様な地域資源・魅力を市内外に発信し、定住人口の維持や交流人口・関係人口\*の拡大を図ります。

### 現状と課題

- 少子高齢化を背景とした人口減少は、全国の自治体が共通して抱える課題であり、定住に向けたシティプロモーション\*の地域間競争がさらに求められてきています。定住人口の維持、交流人口の増加に加え、多様な形で関わる関係人口の拡大を目指し、上田市の魅力を磨き上げ、戦略的に市内外へ情報を発信していく必要があります。
- 市民アンケートでは、多くの市民が「自然環境に恵まれ、日常生活がしやすい」と回答している一方、住みにくい理由として「まちに魅力やにぎわいが少ない」と回答している方も少なくありません。上田市のイメージを向上させ、シティプロモーションを効果的に進めるためには、より上田市の魅力を感じ、共感することの出来るブランド戦略を提案していく必要があります。
- 市の人口動態において、転入者数と転出者数の差による社会動態は、増減に変動がありますが、特に、若者世代の進学・就職による首都圏への転出が顕著となっています。若者の定住やUターン、地域の担い手の増加につなげていくため、市民が郷土の愛着と誇り(シビックプライド\*)を持ち、いつまでも住み続けたい、まちに関わりたいという意欲を喚起していく必要があります。
- 行政サポートによる移住者数は、100人規模で推移していますが、さらなる地域の活力維持に向けて、特に、若者世代や子育て世帯の移住促進に取り組む必要があります。移住先として選ばれるために首都圏等における上田の魅力発信に加え、住まい・仕事・子育ての支援など、効果的な施策展開が必要です。
- 少子高齢化による人口減少などにより、空き家は増加傾向にあります。空家とならないための予防、空家等の解体および活用による空家等対策の推進が必要です。

【社会動態(転入者数-転出者数)】



年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転入者数	4,799	4,880	4,892	4,901	5,296	4,823	4,367	4,486	4,854	5,063
転出者数	4,517	4,558	4,350	4,487	4,697	4,891	4,509	4,376	4,696	4,675

出典：上田市作成(政策企画課)

## 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
行政サポートによる移住者数	104人 (令和5年度)	140人/単年度
空き家情報バンクにおける成約件数	27件 (令和5年度)	135件 (令和8～12年度累計)

## 各主体に期待される主な役割分担

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田市の地域資源・魅力を市内外へ積極的にPRします。</li> <li>・移住者の受入体制の整備や移住者と地域住民との交流を推進します。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田の豊かな歴史に育まれた多彩な観光資源を活用した旅行商品や、関連商品の開発を行います。</li> <li>・移住・定住促進に向け、就職支援事業者や宅建関係事業者などによる受入体制の維持・強化に取り組みます。</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田市の持つ多様な地域資源・魅力を、市内外に発信します。</li> <li>・市民の郷土の愛着と誇り(シビックプライド*)の醸成に努めます。</li> <li>・上田市への移住検討者・移住者への支援を積極的に推進します。</li> </ul>

## 施策の方向性・展開

### 基本施策1

#### 地域の魅力を生かした情報発信とシビックプライドの醸成

- ①上田市の多様な魅力を市内外へより多くの方に受け取ってもらえるよう、メディアやWEB、SNSなど、各種手段を通じて積極的に発信します。
- ②市民や団体等と連携し、求められている情報の把握と発信に取り組むとともに、市民の定住意欲の向上や郷土の愛着と誇り(シビックプライド)の醸成を推進します。
- ③様々な地域資源や魅力を活用し、上田市の認知やイメージの形成・向上を図ります。

### 基本施策2

#### 社会動態の増加を目指した移住促進と、関係人口\*づくりの強化

- ①移住検討者の多様なニーズを捉え、大都市圏での移住相談会・セミナーの開催や、WEBを活用して、効果的な情報発信を行います。
- ②官民連携により移住検討者の相談体制を充実し、仕事や住まいをはじめとした移住関連施策を展開するとともに、都市農村交流など関係人口づくりの取組を進めます。

## 主な事業

移住相談会・セミナー開催 移住体験ツアー 移住者交流会  
 U・I・Jターン\*就業・創業移住支援補助事業 移住希望者就職支援事業  
 空き家活用支援事業(空き家情報バンク) 稲倉棚田オーナー事業 東山りんごオーナー事業  
 クラインガルテン\*運営事業 シティプロモーション\*推進事業

## 関連する主な個別計画

第二次上田市空家等対策計画 第二次上田市シティプロモーション推進指針



## 6-3-2 交流・連携促進による地域の活性化

広域的な自治体間連携や姉妹都市などとの都市間交流を促進し、地域の魅力や活力を高めるとともに、関係人口\*・交流人口の拡大に努めます。

### 現状と課題

- 人口減少および少子高齢化の急速な進展により、財源と職員数の縮小が避けられない状況において、将来を見据えた自治体経営を行うためには、広域的な自治体間連携の推進により、各自自治体の有する機能や特徴を相互に補完し合い、また、施策の相乗効果を高めることが重要です。
- 姉妹都市をはじめとする都市間交流については、地理的環境はもとより、文化や人口規模等生活環境が異なる市民同士の交流を通じて、産業の活性化や教育の充実に寄与するほか、関係人口、交流人口の拡大が期待されます。デジタル技術の進展により物理的距離の制約が解消され交流の在り方も多様化する中で、従来の目的や交流手法に捉われず、市民主体の活動を活性化させるなど新たな交流の可能性を探求することが重要です。

【上田地域定住自立圏(圏域7市町村)】



【国内外の姉妹都市等の一覧】

呼称	都市名		提携年月日(提携時市町村)
友好交流都市	寧波市	中華人民共和国浙江省	平成07年02月09日(旧上田市)
友好都市	ブルームフィールド市郡	アメリカ合衆国コロラド州	平成13年05月24日(旧丸子町)
姉妹都市	ダボス町	スイス連邦グラウビュンデン州	昭和51年03月25日(旧真田町)
姉妹都市	鎌倉市	神奈川県	昭和54年11月05日(旧上田市)
姉妹都市	上越市	新潟県	昭和54年11月05日(旧上田市)
姉妹都市	豊岡市	兵庫県	昭和54年11月05日(旧上田市)
姉妹都市	九度山町	和歌山県	昭和52年05月04日(旧真田町)
友好都市	練馬区	東京都	平成06年12月01日(旧武石村)

### 達成度をはかる指標・目標値

指標の内容	基準値	計画目標(令和12年度)
上田地域定住自立圏 取組事業数	61事業 (令和6年度)	62事業
都市農村交流人口 (練馬区武石少年自然の家利用者数) ※上田市民除く	17,641人 (令和5年度)	18,000人

## 各主体に期待される主な役割分担

市民	・観光や文化などの地域資源を生かした魅力あるまちづくりを進めるため、関係自治体をはじめ、各都市間の交流や連携を深めます。
事業者	・地域の活性化、地域経済の振興につながる取組に協力するほか、人口減少下における事業継続・活性化に向けて各都市間との交流・連携の機会を積極的、効果的に活用します。
行政	・人口減少下における効率的かつ効果的な行政運営の推進と、交流・関係人口*の拡大を図るため、広域連携や自治体間連携を促進します。

## 施策の方向性・展開

### 基本施策1 広域的な自治体間連携による地域力強化

- ①複雑化、高度化する課題への対応や地域活性化施策等について効率的、効果的に推進するため、県内外自治体との広域連携を促進します。
- ②「上田地域定住自立圏共生ビジョン\*」および「上田地域広域連合広域計画\*」に掲げる連携事業について着実に取り組むとともに、時機を捉えた見直しを図ることで、行政経営の効率化を図り、安心して暮らし続けられる魅力あふれる地域生活圏\*を形成します。

### 基本施策2 都市間交流による地域の活性化

- ①文化・経済・教育など幅広い分野における都市間交流を、市民や各種団体とともに促進することで、地域全体の活性化や社会的課題の解決等を推進します。
- ②新たな価値を創る都市間交流を促進することで、交流人口、関係人口\*の増加につなげ、魅力あるまちづくりを推進します。

## 主な事業

姉妹都市等および防災協定都市との災害時相互応援協定 上田市・千曲市広域シェアサイクル  
千曲川ワインバレー特区連絡協議会\* 上田市内科・小児科初期救急センター運営  
ブルームフィールド市郡青少年相互派遣交流事業 信州上田物産館「UEDA Nerima BASE」運営事業

## 関連する主な個別計画

第3次上田地域定住自立圏共生ビジョン